

○ **アフリカの食料安全保障と栄養の改善に向けた国際研究プログラム**
【令和6年度予算概算決定額 37（51）百万円】

- <対策のポイント>
G7広島サミットでの世界の食料安全保障に関する議論等を踏まえ、次回以降のアフリカ開発会議（TICAD）等を見据え、**アフリカの食料安全保障と栄養を改善するため、国際農業研究機関と連携し、気候変動への対応や栄養供給の向上に資する作物品種の開発を促進**します。
- <事業目標>
○ 在来品種より栄養価の高いyamイモの系統を2つ以上、ササゲの系統を3つ以上開発し、作物ごとに高収量となる栽培体系の構築 [令和7年度まで]
○ 耐塩性、耐干性に優れたイネ2品種の開発 [令和8年度まで]

<事業の内容>

1. **yamイモ、ササゲの高栄養系統の開発** **20百万円**
○ **高栄養（デンプン）、高ポリフェノール、高ビタミン等の特徴を付与した高栄養yamイモの系統、及びタンパク質やポリフェノール、葉酸、血圧降下作用のある物質を豊富に含むササゲ系統を選抜**します。
(拠出先：国際熱帯農業研究所（IITA）)

2. **気候変動に対応するための耐塩性・耐干性イネの開発** **17百万円**
○ 国際研究機関が保有する遺伝資源を活用し、**気候変動により増加している塩害等に対応できる優れたイネの品種を開発**します。
(拠出先：国際稲研究所（IRRI）)

<事業の流れ>

拠出金

国

日本（100%）

国際熱帯農業研究所（IITA）
国際稲研究所（IRRI）

<事業イメージ>

○耐塩性・耐干性イネ品種の開発

○高栄養yamイモ・ササゲ系統の開発



アウトプット

○在来品種より栄養価・機能性の高いyamイモ及びササゲ系統
○耐塩性、耐干性に優れたイネ品種

アウトカム

アフリカの食料安全保障と栄養の改善、及び
次回以降のアフリカ開発会議（TICAD）に貢献

2 飢餓をゼロに

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

[お問い合わせ先] (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 農林水産技術会議事務局国際研究官室 (03-3502-7466)